

事務事業名		小学校校内緑化環境推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり					担当係	総務係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 安全で快適な学校施設の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	13186	一般	10	2	1	小学校校内緑化環境推進事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H20年度～ 年度		根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事業		任意的事業			
							実施方法		直営		
							事業分類		教育・指導事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
児童が植物を育てる活動を通じて、豊かな心を醸成する。 各小学校に、植物を育てるために必要な消耗品を購入するため、需用費を配当し、学校の実情にあった種、肥料、プランター等購入し、校内緑化を推進する。			各小学校へ消耗品費の配当(4月) 学校に必要な消耗品を購入し、植物を育てる。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			実施学校数	校	27	27	27	27	26	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①市内各小学校 ②総児童数			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			各小学校	校	27	27	27	27	26	
			総児童数	人	6,187	6,083	5,983	5,896	5,848	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①緑豊かな学校環境にする。 ②児童の豊かな心を育む。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			緑豊かな学校となった学校の割合	%	100	100	100	100	100	
			心が癒された児童の割合	%	100	100	100	100	100	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
快適な教育環境を整備する。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			A版タイプの機の整備率	%	68.1	68.2	100.0	100.0	100.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	352	360				
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	352	360	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	352	消耗品費	360		
	人件費	人	1	1				
のべ業務時間	時間	5	5					
人件費計(B)	千円	19	20	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	371	380	0	0	0		

事務事業名	小学校校内緑化環境推進事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	総務係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	児童が快適に学べる教育環境の整備として心にやさしい緑に着目し、校内の緑化が自発的な運動として進んでいくよう新たな事業として平成20年度より企画した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	児童の心のケアは益々重要性を増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 学校の環境美化に取り組むことによって、快適な学校施設の整備を支援することができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案 例えば花の苗をまとめて市費で購入し、ボランティアスタッフを募り学校に出向き植えてもらうことなども、一つの提案として考えられる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 対象は、児童・学校であり、緑豊かな学校をめざし、ひいては児童のより良い教育環境の整備であり、対象意図ともに妥当である。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 各学校が計画的に緑化に取り組んでおり、成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 少額の消耗品費のみの事業であるので、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求めない	理由・改善案 受益者は市立小学校へ通学する児童であり、その学校の環境を改善するための受益者負担は、求めない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	すべての小学校が緑豊かな学校となり、児童の健全な成長が保証されれば、この事業は終了となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			